

FEMS2023 への参加報告

工学研究科 生命分子工学専攻
博士後期課程 3年 笹原 純

【出張先】

ハンブルク (ドイツ)

【出張期間】

2023/7/7-7/15

【出張目的】

国際学会への参加とポスター発表

【概要】

ハンブルク (ドイツ) で開催された The 10th FEMS Congress of European Microbiologists (FEMS2023) に参加し、“Mechanical stability analysis of an *Acinetobacter* adhesin by steered molecular dynamics simulation” というタイトルでポスター発表を行った。

【所感】

FEMS はヨーロッパを中心とした微生物学会で、本学会には世界各地から 2000 人を超える参加者が集まった。これまで私が参加してきた学会は主にバイオテクノロジーに関するものが多かったので、FEMS2023 では環境、食品、感染微生物学といった多様な分野の研究発表を聞くことができたのは非常に新鮮であり刺激的であった。シンポジウムやトークセッションの間に設けられたコーヒブレークは、参加者同士が議論を交わし交流を深める時間となっていた。この時間を活用して様々な国の研究者と交流できたことは、私自身にとって貴重な経験となった。また、ポスターセッションでは、異なるバックグラウンドをもつ研究者に向けて発表する機会があり、GTR プログラムで培ったスキルを試す絶好の実践の場となった。最後になりましたが、このような貴重な機会を与えてくださった堀克敏教授と、ご支援をいただいた GTR の皆様に深く感謝申し上げます。



学会会場 (Congress Center Hamburg, CCH) にて